

**ヤマハ
ボート**

YAMAHA BOAT NEWS NO. 32





'71 YAMAHA

ヤマハがF R Pボートをこの世に送りだしてから約10年、その美しいデザインと安定した性能は常に日本のボート界のリーダーとして歩んできました。そして現在、新しい健康的なレジャーの分野を開拓し、また多くの実用艇を生みだし、広く社会へヤマハの技術を生かしています。海に囲まれた美しい自然が、四季おりおり我々の訪れを待っています。ヤマハは皆さんの足として働き、水の上の新しい生活空間を創造するよう努力していききたいと思っております。

海、それは限りなく広く、未知の可能性を秘めた素晴らしい世界です。ヤマハは安全性を第一に優秀な技術と、徹底したサービスであなたを海のプロムナードへお誘いします。

'70 YAMAHA BOAT ALBUM



記録的なボートショー入場者でスタートした今年のボートシーズンも、秋を迎えてどうやら一段落の様です。日本のボート界も今年に入ってから大型艇によるデラックスなクルージングがあり、もう一方では、20フィートクラスの家族的なクルージングという巾広い楽しみ方がふえております。広い海原を豪快に走り、釣りに、アクアラングと海の幸を心ゆくまで味ったこのアルバムで、楽しかった夏を思い出してみましよう。





20艇の大キャラバン!

来年もまたきつと……島を背にして一路東京へ。

大島・ 神津島クルージング

9月4・5・6日 ● 主催 東京支店

コースとメモ

9月4日午前10時 葉山マリーナ出発

大島岡田港12時ガソリン補給

神津島前浜港午後2時30分 自由

行動トローリング、水上スキー etc、

宿へ、夜は近在の漁師を呼んで翌日の

釣りの打合せなど。

9月5日 二艇一組で自由行動 トロ

ーリング、アクアラング、イソ釣り etc、

フグ、イシモチ、イソエビ、サザエ、

アワビなど、手づかみでとれる!

9月6日、午前7時30分神津島出発

大島10時30分 三崎11時30分

解散、各艇マリーナへ。大島から三崎

まで45分という最高のクルージング日

よりでした。

● ● ●

東京のオアシスとして有名な伊豆七島へ始めてのクルージング、参加する人も、艇も主催者の予想を上回る数となり、準備に大わらわの前日でした。途中、大島へ寄ってのコースは、スタミナの配分にちょうどいい具合です。女性、それに家族づれの参加が目立ったのも、このへんのプランが成功したからといえましょう。二泊三日、大人数



長いクルージングです、出発前の準備はおこたりにないように。



早速ママの手にかかって料理が始まりました。さざかしオインカットデショウネ。



総勢80人

'70 YAMAHA BOAT ALBUM

のクルージングにもかかわらず、全員無事に帰港し、参加者のボートマナーの良さに主催者側も、「これは、マリシクラブの活動が、ボートマンに密着してきた証拠でしょう」と自信を深めていました。

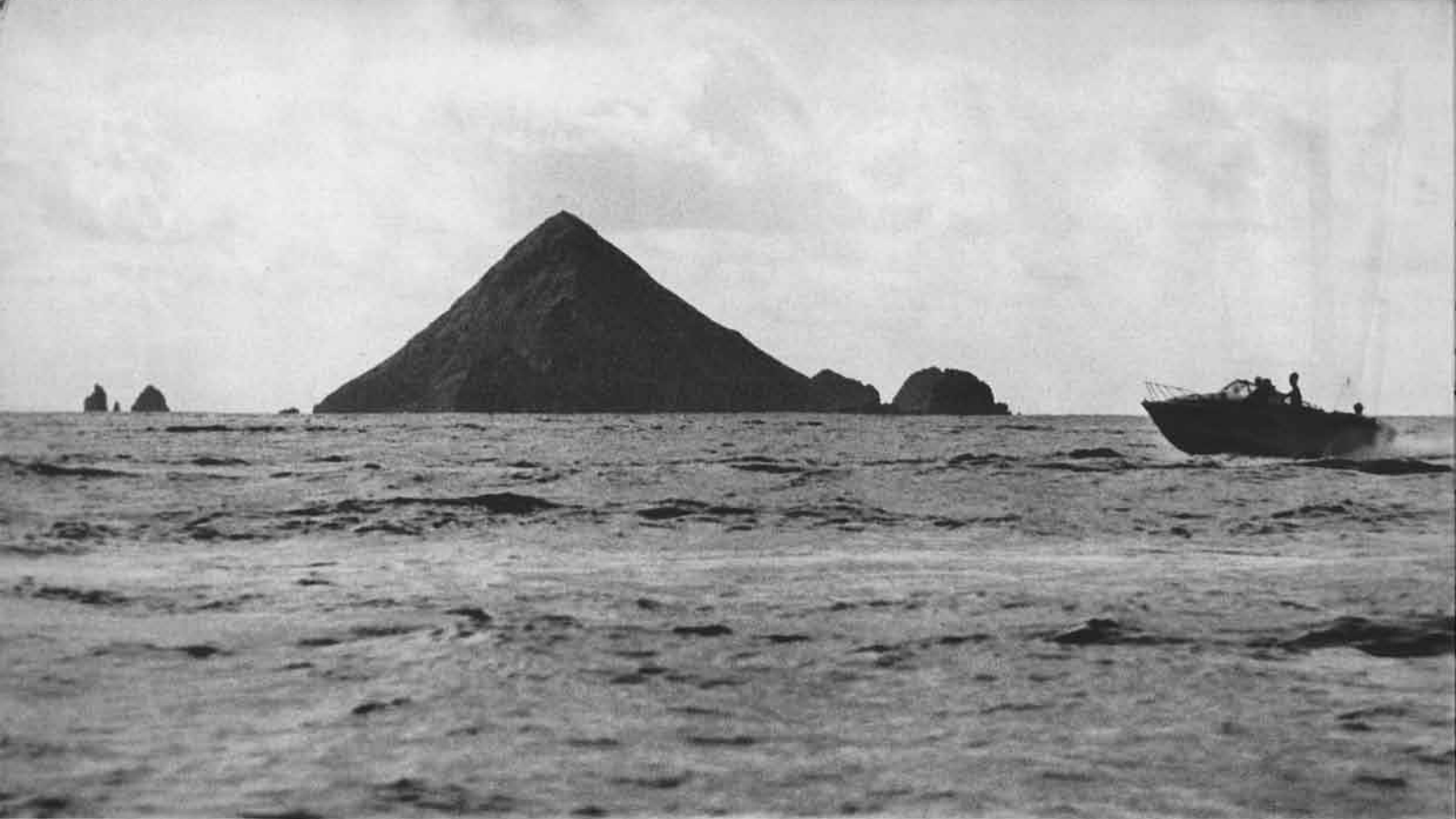


▲ 大海原 / ビューティフルだなあ。

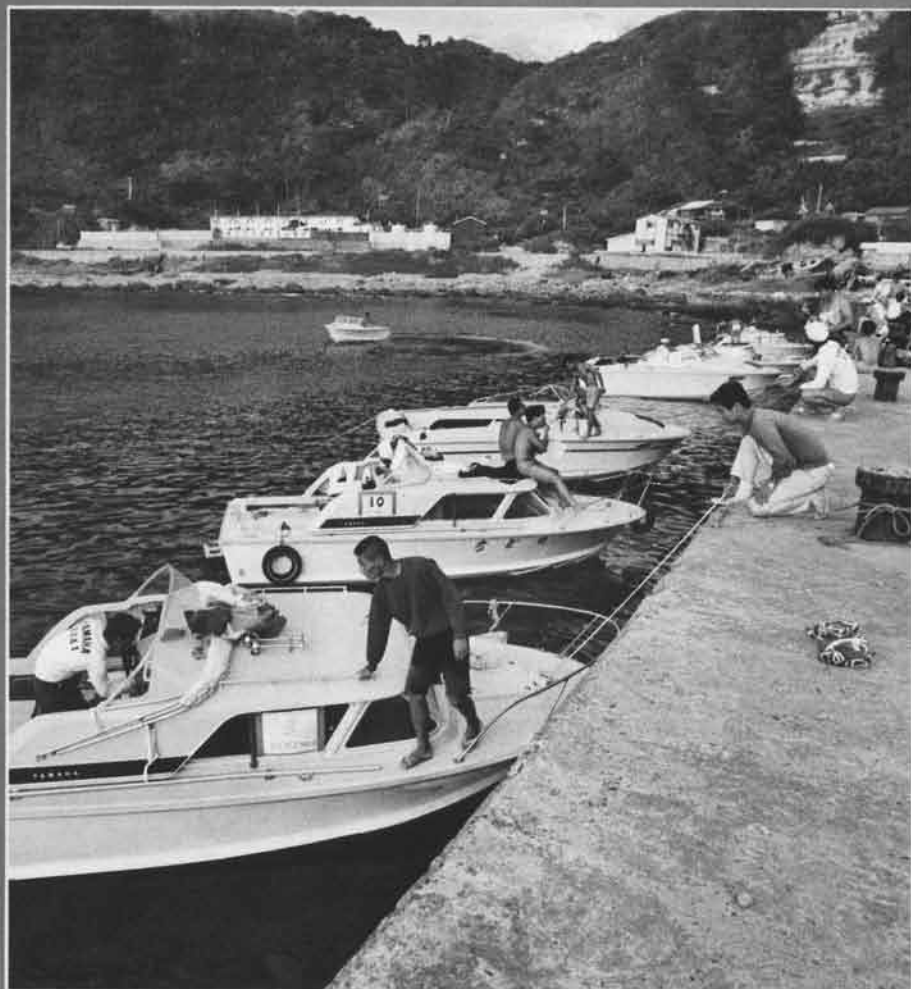
'70 YAMAHA BOAT ALBUM



ゴムボートを用意して、“さて出かけるか”……。水の遊び方も大部こってきたようです。



美しい島めぐりはゴキゲンでした。



▲神津島に到着！ ヤマハボートで岸壁も一杯です。



コースの検討は毎朝のミーティングで決定する慎重さがほしいものです。



ドウダ！！ この腕を見直したろう！！

初の水上運動会開かる

愛知●知多マリーナ

モーターボートを使った楽しい遊びをと、名古屋支店主催の水上運動会が、9月6日知多マリーナで開かれました。

この日の出場は15艇、ボートの操縦にかけては腕自慢の艇長さんと、よきパートナーなど45名が参加して、三種目の競技が行なわれました。

まず、海上30mおきにジグザグに浮かべられたビーチボールをまわって走る、円板スキー、スラロームと、ベアになった小型艇と大型艇がバトタッチして、きめられたコースを走りながら風船を拾う競技が行なわれました。大きなボートに小まわりのコースとあつて珍芸の続出でしたが、結局、円板スキーは、往復500mのコースを一度も転倒せず、終始見事なフォームで走りきった伊藤さんが、2分50秒で優勝、風船拾いは近藤さんが、2分20秒で栄冠をいただきました。

午後からは知多から20km沖の佐久島をめぐる、豪快な水上スキーツアーが行なわれ、これもまた伊藤さんが圧倒的な強さをみせ22分35秒で優勝しました。これにも第二位に入りベテランぶりを見せた近藤さんは、レース終了後のアトラクションで素足スキーの妙技を披露、余裕のあるところを見せていました。



◀次々とボートがおろされ、会場の霧田気はもりあがっています。

琵琶湖で楽しく ファミリークルージング

このほど、大阪支店主催の恒例の琵琶湖クルージングが、約30名の参加者のもとに行われました。琵琶湖はごそんじのように滋賀県にあり、日本一の淡水湖として、その形が楽器のピワににているところから名づけられたことは有名です。遠く平安の時代から多くの人々の生活と密着し、海上交通路として発展してきた湖です。

今では、琵琶湖大橋も完成、もっぱらセーリングボート、モーターボート、観光船と、レジャーを楽しむ人々にぎわっています。毎年行われているこのクルージングも回を重ねるごとに参加艇もふえ、今回は約10艇が参加、波のない静かな湖面でのランナバウト、水上スキーにと、ファミリーでボートینگを楽しんでいる姿が印象的でした。

無事、一日のクルージングを終り、来春の楼の季節での再会を約して夕焼けに美しい琵琶湖に別れを告げていました。

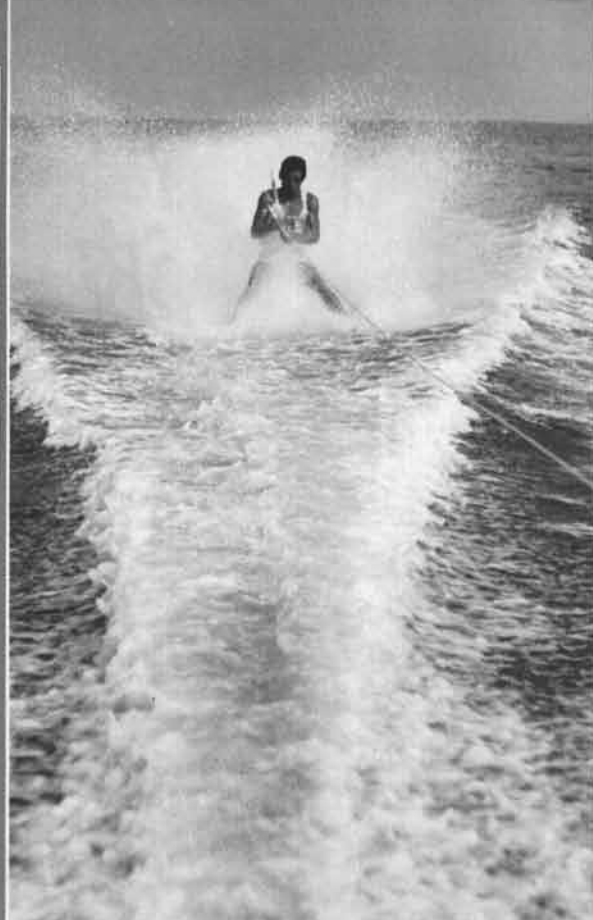


◀家族で楽しむオーナーが毎年増えてきます！手軽なクルージングが好評のゆえんでしょう。



◀ 競技が終つて表彰式、和気あいあいのなか
やかなムードに包まれました。

▲ 風船とり競争ノドライバーのテクニックが
ものを言います。



▲ 中部地区のベテラン 近藤さんがアトラクションで披露し
た、見事な素足スキー

'70 YAMAHA BOAT ALBUM



▲ 湖といっても日本一、走りてがあります！



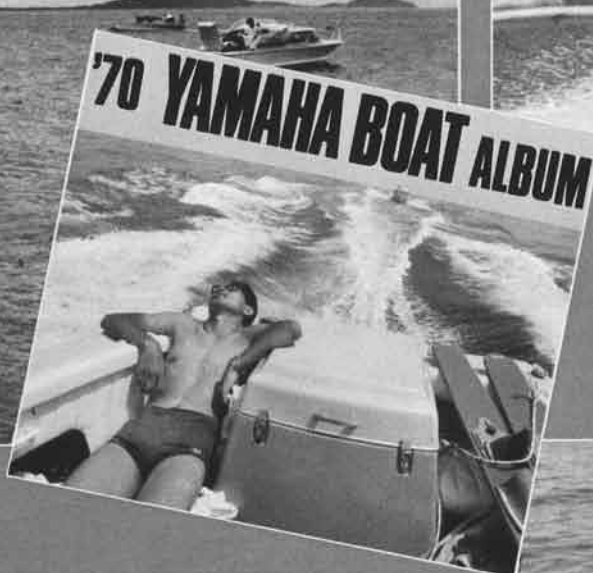
▲ 琵琶湖大橋の美しい姿がまた
格別です。



◀ ヤマハボートの力強さに
彼らはしばしばウゼン…。



高波と格闘



▲ボートマンシップの美事な成果！
ヤマハ連合艦隊が進みます。

◀エンジンの心地よい振動が夢を誘います。

▼突然マンボウの出現！ あそこだ！！



合歓の郷、 尾鷲クルージング

8月1・2・3日 ●名古屋支店 主催

今年オーブンした合歓の郷をめぐる尾鷲クルージングが、8月1日から三日間名古屋支店の主催で行なわれました。

知多から四艇、西浦から五艇それぞれのマリナーから九時に出発、篠島で浜松からの本部艇STR-25と合流して合歓の郷マリナーにむかいました。おりから低気圧の接近で、おしよせる2mの大波と格闘しながらのクルージングでしたが、正午過ぎには全艇無事に合歓の郷マリナーに入りました。

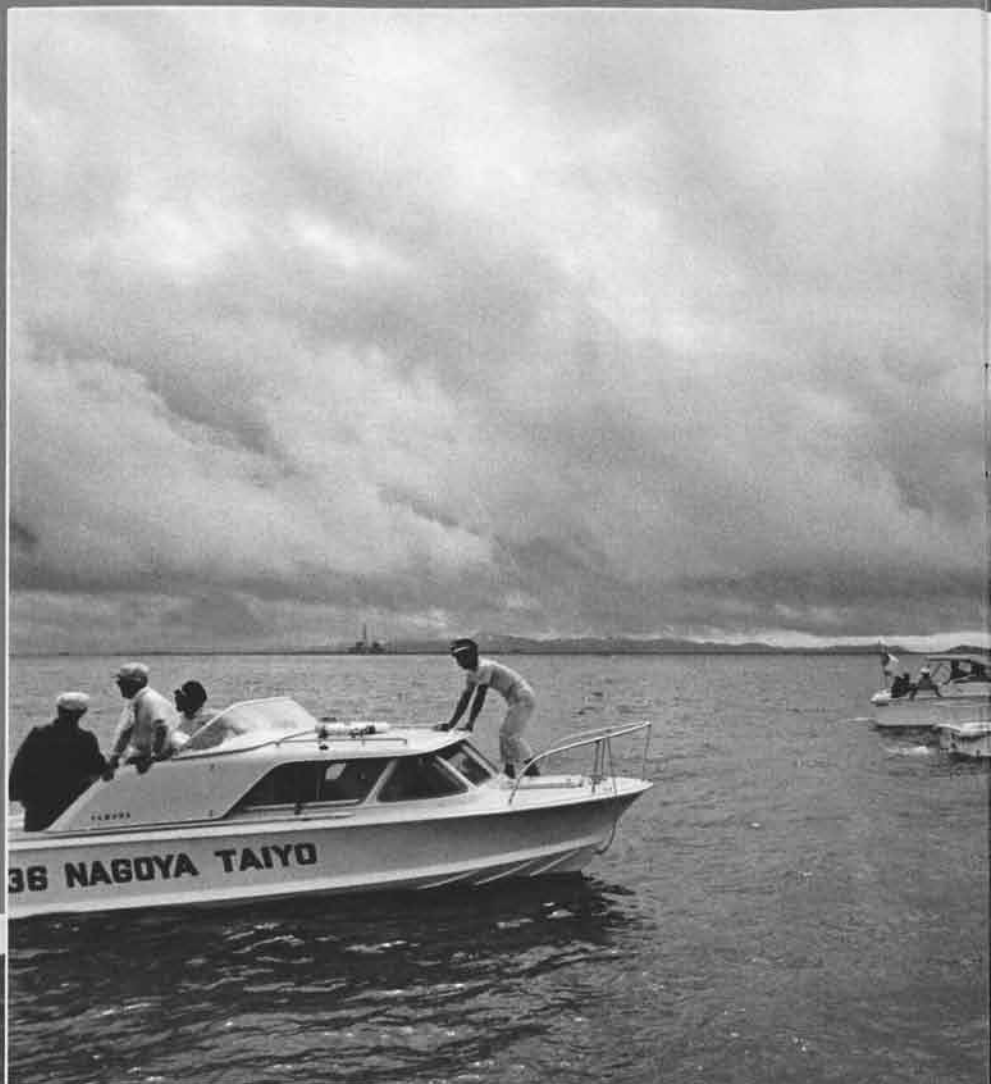
ワイラ大食堂では、とれたばかりの貝など



▲千変万化の美しい模様の上で憩いのひとときです。



▲夕食のひととき、一日の想い出話に花が咲きます。



◀新装なった合歓の郷マリーナにも寄って、楽しいひとときを過しました。



超豪華版の昼食をとって元気を回復、最初の子定地勝浦に向け、再び大波の中を乗り出しました。

波は外洋の熊野灘に出るとますます激しくなり、合歓の郷マリーナから加わった16スポーツなど小型艇は、まさに木の葉のようにゆれながらよく健闘しました。

しかし波は高くなるばかりで速度は思うにまかせず、夕やみがせまってきたこともあって、ついに勝浦行きを断念、尾鷲港に避難しました。

翌二日は、前日の嵐がうそのように晴れあがり、各艇おもしろいおもしろい漁場を求めてトローリングやフィッシングを楽しみました。

中でも尾鷲沖では数匹のマシボウが現れ、三艇で追跡して水中銃でねらい撃ちしましたが、残念ながら逃げられるといふ一幕もあり、結局、釣の一位は、40 cm程のシイラを六匹しとめた高沢艇、二位は25 cm大のさば四匹釣りあげた入野艇ときまり、それぞれギターとボングの賞品を獲得しました。



全走行距離 3,200マイル

無事1600マイルを走りおえ、種子島に頼うヤマハボート。

種子島大クルージング

9月19日～25日●主催 大阪マリリン

参加艇 STR-25-HT 2艇

STR-20CR 1艇

参加人数 12名(内2歳、4歳の女の子含)

コース

19日●西の宮ヨットハーバー——友ヶ島

——伊島——室戸岬——足摺岬(泊)

20日●足摺岬——九州宮崎県土々呂港(泊)

21日●土々呂港——都井岬——種子島(泊)

22日●種子島

23日●種子島——土佐清水(泊)

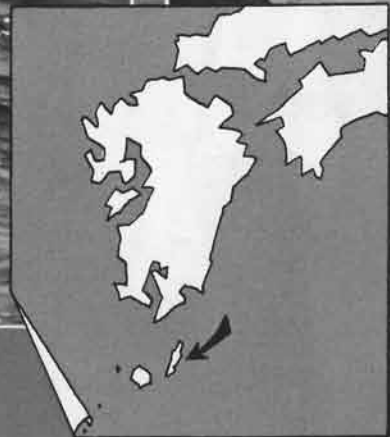
24日●土佐清水——西の宮ヨットハーバー解散

鉄砲伝来の島として有名な種子島は、バナナが実り、熱帯植物が咲き乱れる南国の香りがいっぱい島の、今では観光地として内外の人気を集めています。今回、大阪マリリンさんがこの計画を立てた動機は、飛行機から見た種子島と九州鹿児島との距離が予想外に近かったからだそうです。

参加された方の中には、家族づれでこの大クルージングを楽しもうという坂田さんご一家、大阪マリリンさんでは、ドライバー、メカニック、プログアイバー、ベテランセーラー、と万全な準備をし、往復3200マイルというコースに挑戦しました。

雨の日、波の高い日、サメの中でのダイビング、など、苦しい時が何度もあったそうです、しかし、これも、南の海の青さ、空の美

'70 YAMAHA BOAT ALBUM



見わたすかぎりの海また海を豪快に飛ばすSTR-25



長丁場のクルージングです。コースのプランは特に慎重にやりました。

しき、それに種子島の人々の暖かいもてなしにすっかり吹きとんでしまったとのこと、そのお札にと、島の子供たちをボートにのせてやって大変人気があったようです。

「来年も是非きて下さい」という島の人の声を背にうけて島をあとにしたのは種子島に着いてから三日目の早朝でした。

こうして、無事、全員、西の宮ヨットハーバーに戻ってきたわけですが、来年はさらに種子島から、沖永良部島へのクルージングをやってみたいという意見が出るほど、張りきっていました。



島の暖かいもてなしにこたえて、子供たちをボートへ招待しました。



大型艇ならではの光景です！



島では大歓迎を受け、楽しい日々を送ることが出来ました。



トローリングもよし！ ダイビングも又よし！ ということなし。



ウッドストック日本版ナノダ！

'70 YAMAHA BOAT ALBUM



南国の陽は強く、カメラの前では目を細めてしまいます。

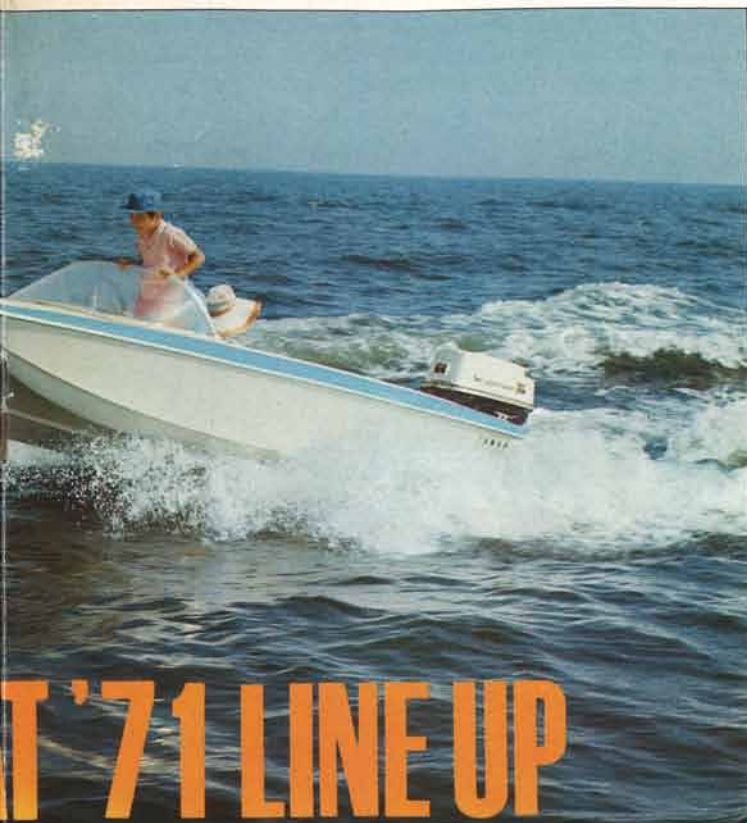


'71 YAMAHA

まっ青な大海原に、まっ白な航跡を描いてくりだすボートィングは、大型レジャー時代の代表格として、ますます盛んになってゆきます。

'71のヤマハは2種のニュータイプが登場、そして全艇カラフルにイメージチェンジ。日本の海をいっそう明るいものにいたします。

T'71 LINE UP



●ファミリーレジャーの花形

トリマラン14デラックス V
 全長……………4.15 m
 全巾……………1.63 m
 深さ……………0.65 m
 重量……………200 kg
 定員……………5名
 推奨馬力……………20~40 P S
 最高馬力……………55 P S

TRI-14DX



●マリンスポーツの基地

トリマラン14カスタム V
 全長……………4.15 m
 全巾……………1.63 m
 深さ……………0.65 m
 重量……………180 kg
 定員……………4名
 推奨馬力……………6~20 P S
 最高馬力……………40 P S
 他に普及型のTRI-14STDも用意しております。

TRI-14CUS



●海釣りの決定版

フィッシャーマン12 V
 全長……………3.63 m
 全巾……………1.34 m
 深さ……………0.45 m
 重量……………65 kg
 定員……………3名
 推奨馬力……………3.5~5 P S
 最高馬力……………6 P S

FISH-12



STR-20HT-CR



●イケスもついた本格派

フィッシャーマン14 V
 全長……………4.10 m
 全巾……………1.50 m
 深さ……………0.67 m
 重量……………120 kg
 定員……………3名
 推奨馬力……………6~15 P S
 最高馬力……………20 P S

FISH-14



NEW!

●海原を航くサロン

ストライプ20ハードトップクルーザー
 全長……………5.99 m
 全巾……………2.44 m
 深さ……………1.21 m
 重量……………950 kg
 定員……………5名
 推奨馬力……………155~170 P S
 最高馬力……………215 P S

●水辺の人気者

ローボート12 V
 全長……………3.52 m
 全巾……………1.12 m
 深さ……………0.41 m
 重量……………50 kg
 定員……………3名

ROW-12



●波に挑むアクションボード

ストライプ15 V
 全長……………4.60 m
 全巾……………1.85 m
 深さ……………0.81 m
 重量……………290 kg
 定員……………5(6)名
 推奨馬力……………50~60 P S
 最高馬力……………100 P S

STR-15



●手軽な水遊びに

ローボート10 V
 全長……………2.82 m
 全巾……………1.07 m
 深さ……………0.39 m
 重量……………40 kg
 定員……………2名

ROW-10



クルーザータイプの他、業務用交通艇としてSTR-20-HTも用意しております。



STR-250SP

●走る別荘
ゴージャスなクルーザー
ストライプ25 オフショアスポーツ
全長……………7.60 m
全巾……………2.80 m
深さ……………1.32 m
重量……………1,800 kg
定員……………10-12名
総トン数……………4.95 t
推奨馬力……………120-160 P S × 2
最高馬力……………170 P S × 2



STR-20CCR

●海に浮かぶリビングルーム
ストライプ20キャビンクルーザー
全長……………5.99 m
全巾……………2.44 m
深さ……………1.21 m
重量……………950 kg
定員……………10名
推奨馬力……………155-170 P S
最高馬力……………215 P S



STR-20 SCR

●優雅に踊る
オフショアドルフィン
ストライプ20スポーツクルーザー
全長……………5.97 m
全巾……………2.40 m
深さ……………1.20 m
重量……………880 kg
定員……………9名
推奨馬力……………160 P S
最高馬力……………215 P S



STR-18 CR

●キャビンクルーザーの
バイオニア
ストライプ18クルーザー
全長……………5.50 m
全巾……………2.26 m
深さ……………0.97 m
重量……………850 kg
定員……………6 (10)名
推奨馬力……………120-140 P S
最高馬力……………170 P S



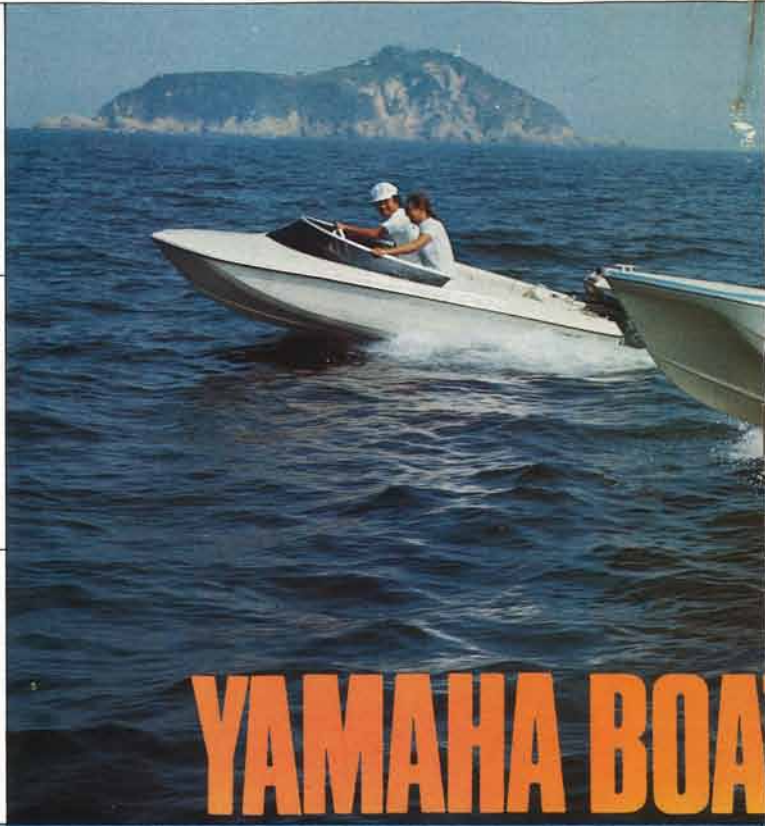
STR-18 SP

●マリンレジャーを拓げる
ファミリースポーツポート
ストライプ18スポーツ
全長……………5.50 m
全巾……………2.26 m
深さ……………0.97 m
重量……………680 kg
定員……………6 (10)名
推奨馬力……………120-140 P S
最高馬力……………170 P S



STR-16 IN

●海のプレイグランド
ストライプ16インポート
全長……………5.15 m
全巾……………2.00 m
深さ……………0.83 m
重量……………440 kg
定員……………6 (8)名
推奨馬力……………120-140 P S
最高馬力……………170 P S



YAMAHA BOAT



TRI-12SDX

NEW!

●シャープな海のスポーツバギー
トリマラン12スポーツデラックス
全長……………3.69 m
全巾……………1.52 m
深さ……………0.55 m
重量……………140 kg
定員……………2名
推奨馬力……………10-15 P S
最高馬力……………25 P S



STR-16 OUT

●バイタルな海の男の
スポーツポート
ストライプ16アウトポート
全長……………5.15 m
全巾……………2.00 m
深さ……………0.83 m
重量……………425 kg
定員……………4 (9)名
推奨馬力……………60-80 P S
最高馬力……………135 P S

YAMAHA SAIL BOAT '71 LINE UP



YAMAHA — 36

ヤマハ36

●最高級オーシャンクルーザー

全長……………10.9 m	排水量……………5,460 kg
水線長……………8.61 m	バラスト……………2,270 kg
全巾……………3.2 m	帆面積……………51.8 m ²
吃水……………1.65 m	

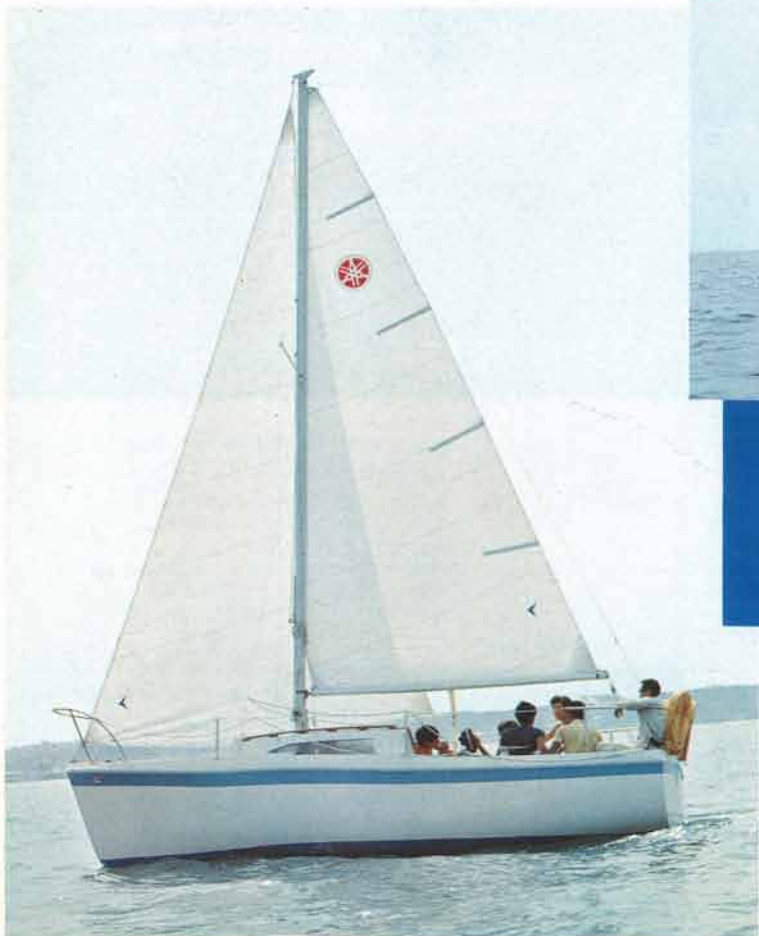


YAMAHA — 15 DX

ヤマハ15デラックス

●レースにアーサーリングに

全長……………4.68 m	排水量……………1,75 kg
全巾……………1.72 m	帆面積……………12.90 m ²



YAMAHA — 22 DX

ヤマハ22デラックス

●豊かな週末のファミリークルーザー

全長……………6.72 m	排水量……………1,250 kg
水線長……………6.13 m	バラスト……………456 kg
全巾……………2.36 m	帆面積……………21.6 m ²
吃水……………1.06 m	

'70ヤマハマリンクラブ 大成功！

'70はじめてに発足したヤマハクラブは、これまで数々の備しを行ない、いづれも各地で好評でしたが、ここでその一部をご紹介します。東京支店世田ヶ谷店主催によるヤマハアクアラング教室は、8月22日、23日二日間葉山マリーナで開かれました。

これに先立ち、8月20日には世田ヶ谷ショールームにおいて、午後6時から約50人の参加者を含み、アクアラング講習会が開かれました。実技に関する理論など、フェルムをまじえながら全員熱心に受講しました。

二日間にあたる葉山での講習会は、若い人から中年にいたるまでの中の広い講習生を迎え、大沢マリシ講師陣の厳しいコーチを受けながら、無事終了しました。

来年は、もう少し規模を大きく、回数もふやしていきたいと主催者側はプランを練っているそうです。





休憩の時間も有効に、受講生からの熱心な質問が続きます。



▲さあ、行くぞ！ 重くない重くない。

▼三人がかりでどうやらO・K！ 苦勞シマス。



(4)

(3)

(2)

(1)



マスクの次はボンベです。落ちついてやるのが肝心です。



次にマスクをつけます。ここでマスククリアをします。



さあ、タンクのある位置へ素早く潜ります。第一に空気を確保します。

水の中での特訓！
あなたはもうマスター
しましたか！！
 ＝ 水中着用練習 ＝



▲女性参加者も男と同じ訓練！手かげんのない教室でした。

▼まずはシュノーケルのつけたから！



(7)



マスクなしでバディに空気をもらう、器具の故障に対処する訓練です。

(6)



次はタンクをせおいます。水の中では軽いものです。

(5)



タンクの位置を正します。あわてずにやってください。



さあベルトをしめて、あとはウエイトベルトで終りです。

この逆が水中脱着練習になります。着用、脱着ともなにもくりかえし十分にマスターして下さい。

ウィンターボートテイングのすすめ

「ボートは夏のもの」と決めてかかっているのなら、この多様化のすすんでい
る現代に住む資格はない。艇庫の中で、
来年の夏まであえないなど、ボートの
カバーをなでて感傷的になるなんぞは、
いまごろはやらないよ。秋だろうと冬
だろうと、そこに水があるから走ると
いうのが、ほんとうのボートマン。さ
あ、キミもボートにカバーをかけない
で、ウィンターボートテイングを楽しも
う。

●海の子ビシさを知るランナバウト

11月の声を聞くと、海の上はぐんときびしさを増す。デッキにかかる風も、しぶきも身を切るような冷たさ、服装は防水のしつかりしたものの下に暖い毛糸のものを着よう。なるべく肌は露出しないように、スキーの山岳ツアーと同じスタイルが最適。そんなにまでして走らなくても思うのは気が早い、シーズンオフの海を走る爽快さは、経験した者でなくてはわからない。夏、陸のラッシュをほうふつさせた混雑はまったくない。ボートも、セールディングも、この季節に走るのはいかなりのベテラン同志、お互いエチケットとルールを守って走りあうときの連帯感、何もものにもかえがたい。ルール無視で走る無へ



12月にかけてのイイダコ釣り、ボートをしまうのは早いことがわかりだろう。イイダコとは、よくおでんなどに、全身のパーツが揃っている小さなタコのこと、足だけ串にさしてあるのはちがうよ。イイダコとは、卵がまるで米つぶのようだからつけられた名前。これをつけるには、図のようなイイダコテンヤを仕掛ける、ここで釣法の詳細ははぶくが、ラッキョウだけでなく、白いものならよく、ネ



ギの白身、豚肉の脂身などが他に使われる。主に関東の釣りだが、横浜本牧沖、久里浜湾内など、素人でもカンタンにつれて、テンヤにしがついてくるタコが愉快。

●正月のブリはまかせとけ

やはり走りながらというなら、トローリングこの季節で興味あるのはブリ、正月の料理には欠かせない魚だから、実益的でもある。装備も、ブリならライトウエイト、それほど大げさな仕掛もいらす手軽だろう。場所は11月から1月中旬にかけて南伊豆沖あたりがねらい。釣具店にいわば、引きづり用の道具があるから、それで充分。ボートの速度は4〜5キロにして、潮流を横切るように走るか、逆

謀なボートにイライラさせられることもなく、心ゆくまでボートテイングを楽しめるのもこの季節だからこそだ。

● 海底はこれからがシーズン

スキューバをやったものなら、10月から12月にかけての海がいちばんきれいなを知っている。夏の間はプランクトンの発生が多く、どうしても水の透明度が落ちるからだ。もちろんヘドロの海はこの際除外しての話だ。なんのために二万円近くのウエットスーツを着るのか、それは冬もぐるためである、と実際に実行しているグループは多い。よくグラビアなどで海底のクリスマスなどというのを見かけるが、別に南の海でやるわけではない。伊豆や、相模湾などでやっているのだ。だからスキューバのベテランになるとシーズンオフはない。キミも11月の海にもぐってみたまえ。水は思ったよりあたたかいし、透明さもすばらしい。ほんとうにダイバーの魅力を知るなら、初冬にはじめるのがいちばんかもしれないのだよ。

● ラッキョウでつれるイイダコ釣り

釣りのエサはゴカイやミズだけと思つていてはゴカイもはなはだしい。釣餌の種類はそれこそ数百、数千、魚の数ほどあるといわれるくらいだから、ラッキョウで釣れる、とおどろいてはいけない。

エサなしでつれるものもあります。さて、ラッキョウで釣る話だが、これが10月下旬から、



に走るのがコツ、魚は自分の同じ方向に走っているものには食いつかないから。

いろいろと秋から冬のボートテイングを説明したが、これより他にもいろいろ工夫したいで楽しめるはず、とにかく海が好きなら、夏だけといわず、一年中つきあってください。海の上で迎える初日の出というのも、ボートマンだけが味わえるものの一つだからね。

■ 費用はこれだけかかります

ランナバウト

スキー服一式 五、〇〇〇円〜一万円
毛糸マスク 一、五〇〇円〜二、〇〇〇円
カイロ

スキンドイビング

ウエットスーツ 一五、〇〇〇円
エアボンベ(シングル) 一、二〇〇〇円
ハーネス 七、〇〇〇円
レギュレーター 三〇、〇〇〇円
シユノーケル 五〇〇円
足ひれ 一五〇〇円
マスク 三〇〇〇円
ウエイトベルト(五キロ) 五、〇〇〇円
ダイバー用時計 二〇、〇〇〇円
シーナイフ 二、〇〇〇円

つり

イイダコテナヤ 五〇〇円
つり糸(ナイロン4号) 三〇〇円

ひきづり

ひきづり用セット 三、〇〇〇円

奥浜名湖で今年もバカンスを！

●皇太子様ご一家とヤマハボート



▶毎年ヤマハボートは休日のお供にお役にたっています。出発のあいさつをされる皇太子ご一家。



今年はダンディな白のスーツでヤマハはお迎えしました。



地元の人達はヤマハ和船でお出迎え！

毎年、夏の数日を奥浜名湖で過ごされる皇太子ご一家は、今年も、七月二四日から三日間、浜名湖の湖北、気賀にある西野財団の別荘で、楽しい夏の日々をおくられました。

年ごとにご成長されている浩宮様、礼宮様のはしゃぎように美智子妃殿下もご一緒に遊ばれて、毎日大にぎわいでした。お得意の水泳を始め、釣り、水族館のご見学と、三日間のスケジュールはぎっしり、毎年、ヤマハでは、ボートを用意して、浜名湖のボートینگを楽しんでもらっていますが、今年は25フィートのクルーザーを心ゆくまで楽しんでいらしたようです。



ローボート、船外機、セールボートすべてヤマハで海はO・K!!

次から次へと一杯のお客さんで桟橋もこわれそうになるほどの盛況でした。



多摩川で展示・試乗会

東京支店

東京支店では、7月24日から三日間、多摩川でヤマハボート展示・試乗会を開きました。展示されたのはTRI14DX、TRI14CUS、フィッシュヤーマン12などの小型艇で、釣マニアなどのボートファンが約一千名訪れ、晴天続きの多摩川で試乗を楽しみました。また、セールボートヤマハ15、ヤマハ船外機、輸入船外機なども展示され、即売実績も好調でした。



村田英雄さんのゴキゲンな一日

●シーボニアヨットハーバーで愛艇「はやぶさ」の進水式!



▲航海安全はヤマハも同じ。真剣な表情はいかにも海の男。

◀処女航海に出る「はやぶさ」1号。

▶進水式の途中でも、嬉しさはかくせません。



「王将」で一躍その名を高めた、演歌歌手村田英雄さんが、このたび、ヤマハボート20キヤビンクルーザーのオーナーになりました。九州は佐賀の生まれで、海が大好き、今迄はもっぱら釣り舟で遊ぶことが多く、家族で楽しめないことがやはり愛妻家の村田さんには頭の痛いところでした。

この悩みを解決するにはそう時間はかかりませんでした。芸能関係の人々には、ボートのオーナーが多く、いろいろアドバイスを受け、ヤマハボートの優秀さにすっかりホレこんでしまわれたようです。

進水式は八月十日、三浦半島シーボニアで午前十時から行われ、たくさんの週刊誌のカメラマンに囲まれながら、愛妻の真里子さん、可愛い一人娘のみどりちゃん、愛息の達也君の四人で、ゴキゲンな一日を楽しんでいました。

愛艇には歌手らしく、FMステレオを始め、無線装置、室内灯の増灯、トイレ、ギャレー、ガスコンロなど完備し、楽しい海の上での一日を早くも感じさせる装備です。当日も進水式もそこそこに、早速一家そろって海へくり出していきました。



愛艇のカギを受取り、思わず顔がほころびます。



ヤマハセールボートの美しいシルエットは海の上に花が咲いたようです。(東京)

ヤマハセーリング教室各地で開催



まず乗るまえにヨットの基礎知識を学びます。(九州)

発売以来、その優秀な性能で日本のヨット界に新しい話題を投げかけているヤマハセールボートは、第5回、O・A・A・K・Rレースで初出場、初優勝を飾ってからというもの、ビギナーから、ベテランまで人気を独占！その売れ行きも上々のようです。

これにこたえて、早速セーリング教室が、各地で開かれ好評を呼んでいます。今回は九州、福岡マリーナ、東京・葉山マリーナの二ヶ所で開催、熱心な参加者のもとにヤマハセールボート15アラククスによる講義、帆走練習と、三日間にわたる訓練が行われました。

参加者の中には女性の姿も見受けられ、新しいレジャーとしてのヨットの層の厚さもみられて、楽しい雰囲気の中に日程は進められました。

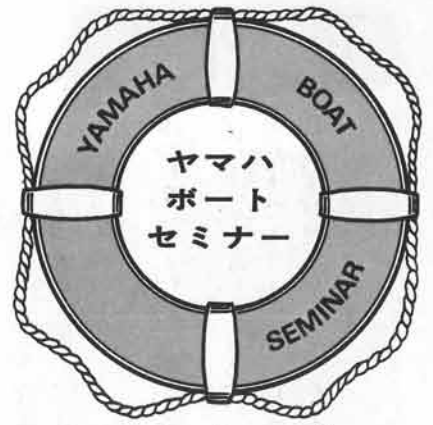
一見簡単にみえるセーリングテクニックのむずかしさに歯をくいしばって努力している光景があちこちに見られ、最終日には参加者同志で、模擬レースをやるほどの上達ぶりを見せていました。



朝早くから夕方まで、セーリングの基礎が教えられます。(九州)



細かなフットイングの注意を熱心に覚えます。(東京)



ウインターボートテイキングの心得

冬にボートに乗るの、とビックリして聞きかえすようなてあいは相手にしないで、ひとつキビシイ冬の海を勉強してみませんか。条件がいろいろとシビアになるだけに、キャプテンとして心がけをきたえるのにも、冬のボートテイキングは適しているのです。オールシーズン・ボート・インをあなたも実践してみてください。

●スキーマの服装が役立ちます

とにかく寒さに対する対策は万全を期してください。肌はすべてかくし、顔も眼だけあいた毛糸のマスクなどいいかもしれません。素肌に海水がかかって、冷い風にあたると、塩分ですごく低温になり、ひびや、赤ギレになるおそれもあるからです。露出する肌には、コールドクリームを塗っておくのもよいでしょう。服装は、スキーマニアなら、それを使うのが一番、防水性も、防寒も申し分なし、とくに耳かくしを忘れないように。

●コンパスを装備しよう

安全備品の必要なことは、この季節に限らずいつでも同じこと、いまさらいうまでもないことです。それに加えて海図とコンパスは忘れないように。なぜなら、海の温度より気温がぐんと下がるため、霧の発生が多くなるからです。海の上で霧にまかれたら、走ってきた方位の逆に走ること。ともかく陸地に着くことはたしか。もつとも、走り出したときの方位をおぼえてなくてはなにもならないでしょうが、いつも海図を見るくせをつけて、自分の方位は概念的にでも確認しとくのがキャプテンとしての基本的心得というものです。



●季節風を知ろう

冬は大陸から海洋に向かい、夏その逆に吹くのが季節風です。これは、海と陸との温度差からおこるもので、春、秋はとくに決まった方向からは風が吹きません。日本は緯度のところにもっともよくあらわれるもので、とくに冬の海では、この動きを知らなくては安全なボートテイングを楽しむことはできません。日本に吹くものは、シベリアあたりから吹くのですから、気温を下げ、日本海側にはいろいろな影響をもたらせます。風速は15メートルぐらいに達し、海峡や、岬のあるところでは地形により風向が一定しなくなり、遭難の原因になります。冬の津軽海峡によくある現象です。山脈地帯はこの風が大雪を降らせませす。太平洋岸は、この風が強いときは、好天のことが多く、空気も乾燥します。風も山脈でさえぎられ、陸上で北風がふきますがボートテイングにはよい日和といえるでしょう。しかし、冬中いつもこの風が吹くわけではなく、気圧配置の条件から決まります。その第一は、シベリアの高気圧です。これは世界最大のもので、ヨーロッパにまで及び広さを持つこともあるほどです。十月ころから現れ、真冬は一〇八〇ミリバールを越すことさえあるのです。天気図で、シベリア方面に高い気圧が出れば、季節風が吹くと考えてください。第二は、アリューシャンの大低気圧で、この方面に、低気圧のあるときも、日本海側は要注意といえます。

●身体のあたたまるものを

人間は体温をうばわれると、急速に体力を消耗することになります。風にあたりと体温はどんどん逃げていきます。防寒具の他に身体の暖をとるもの、たとえばカイロなども用意



すれば意外と役立ちます。身体の中からあたためるものは、アルコールですが、海の上もよっぱらい運転はご法度です。こんな場合、ウイスキーチョココレートが最適、とくにチョココレートはカロリーが高いので、非常用の食料としても欠かせないものです。

●着がえを用意しよう

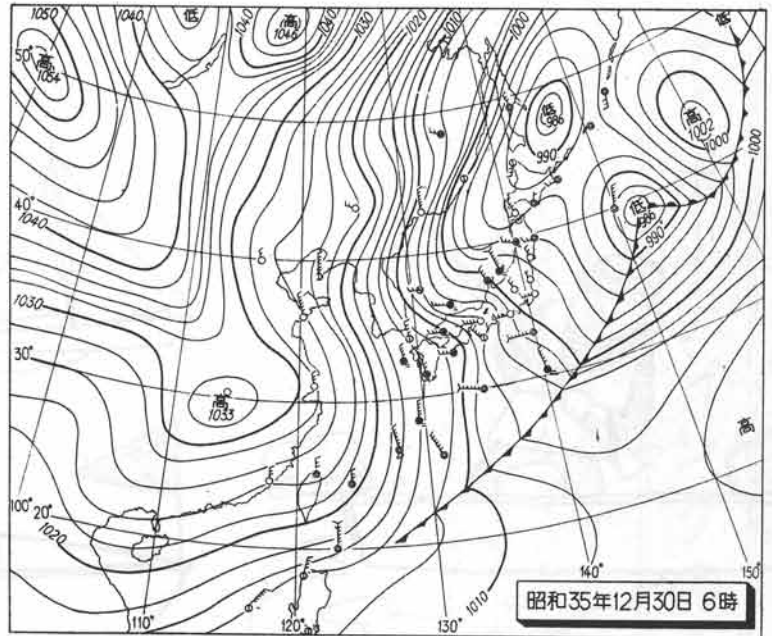
どんな防水着でも、完全に海水から衣服を守ることはできません。ボートディングの終わったあと、帰宅までに風邪を引くのもこまったものですから、着がえのセーターなどは用意しましょう。

●エンジンにも防寒対策を

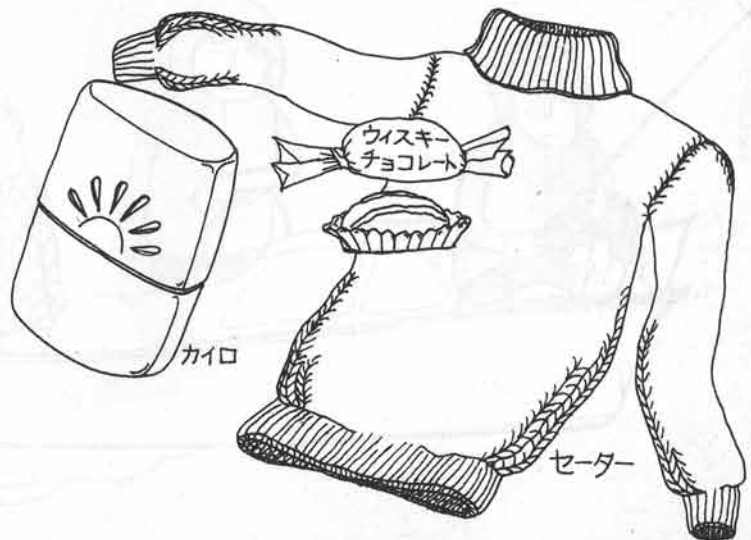
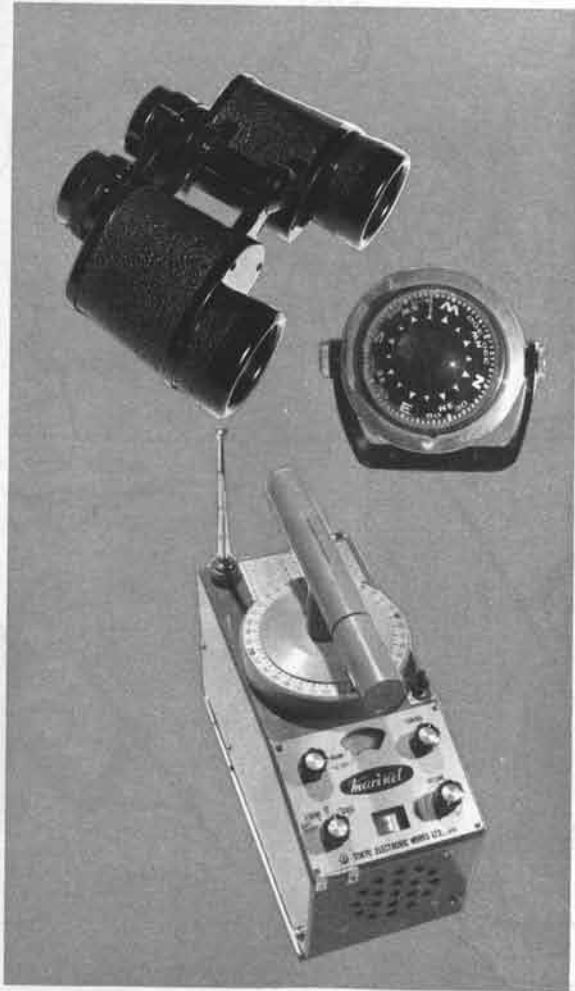
水冷エンジンなら使ったあと、よく水を抜くことを忘れないように、凍結してエンジンを割る原因になるからです。真水をよく通して、何べんかスターターロープをまわして、水をぬきましょう。海水より凍結温度の高い、川や湖の真水の場合、とくにこのことを忘れないようにしてください。寒さで、コードなどの絶縁用ゴムが割れることもありますから注意してください。

●行動は午前中に終らせよう

冬の陽は「つるべ落とし」といわれるように、またたくまに夕闇がせまります。午後にはまだ行動のスケジュールをのばすと夜間航行を余儀なくされることになります。冬の夜間航行はさらに条件がきびしくなります。水を楽しむには、やはりリラックスできる条件で遊ぶべきです。冬のボートディングは午前中で終らせることを厳守してください。



シベリア高気圧のある冬型の天気図
(北陸では集中豪雪が降っています)



透明な風をとらえ 海と語ろう!

ヤマハセールボート15デラックス



発売されてからわずか半年あまりで、セールボート界にヤマハ旋風を巻き起しているヤマハ15デラックス。

ビギナーからベテランまで巾広く楽しめる理想的なデーセーラーです。安全性を重視した設計、軽くじょうぶなFRPの技術がすみずみまで生かされています。日本の海をヤマハが走ります。あなたもヤマハで思いきりセーリングを楽しんでみませんか。

YAMAHA 15 DX



ヤマハボート No.32

■昭和45年12月1日発行

■発行所 ヤマハ発動機株式会社 <静岡県浜北市中条>

■発行人 松井敏夫

ヤマハ発動機株式会社

本社	静岡県浜北市中条	05358-7-1111(代)
ボート事業部	静岡県浜名郡新居町向島3380	05359-4-1211(代)
仙台支店	仙台市東4番丁54 仙台運送ビル内	0222-22-4141(代)
東京支店	東京都港区東新橋1の1の21 今朝ビル	03-572-2021(代)
世田谷店	東京都渋谷区駒沢1の4の15	03-424-8501(代)
名古屋支店	名古屋市北区辻本通2丁目34	052-913-2121(代)
大阪支店	大阪市西区北堀江通り4-27	06-538-7331(代)
広島店	広島市東雲町3丁目16-8	0822-82-4111(代)
四国支店	高松市田町11番地3 亀菱ビル	0878-31-1661(代)
九州支店	福岡市比恵新町26	092-41-3606(代)
北海道駐在事務所	札幌市南五条東1丁目	011-511-6141(代)